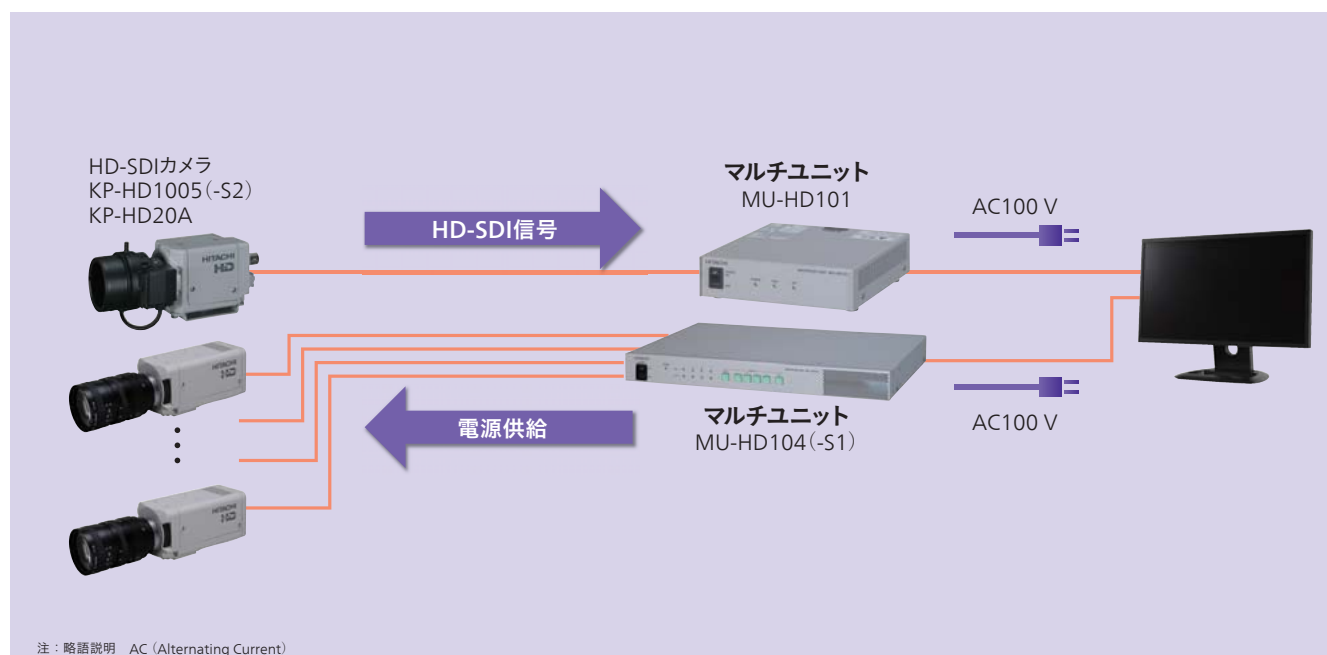




1 HD-SDeyeの電源重畳機能

1 新インタフェース監視カメラ HD-SDeye

HD-SDeyeは、放送規格HD-SDI (High Definition-Serial Digital Interface) に対応する監視カメラシステムである。カメラ出力には、標準規格HD-SDI出力、および長距離伝送HD-VLC* (High Definition-Visually Lossless CODEC) 圧縮出力モードを搭載した。HD-VLCは、ラインメモリによる圧縮処理で1.5 Gビット/sフルHD信号を270 Mビット/sに圧縮することで、同軸ケーブル (5C-2V) による300 m長距離伝送 (標準規格では100 m) を、遅延量16 ms以内で実現している。また、HD-VLC圧縮処理回路は、フルHD映像信号処理回路と1チップ化して低消費電力化を図った。

HD-VLC圧縮出力モードは、周辺機器のHD-SDeyeマルチユニットとの組み合わせによるものである。マルチユニットに搭載した電源重畳機能は、カメラ映像を伝送する同軸ケーブル上に電源を重畳して供給する。

地上デジタル放送により、ハイビジョン*化の動きが急速に拡大している。HD-SDeye監視カメラシステムにより、現在でもさまざまな環境で稼働しているアナログカメラの「手軽にハイビジョン化」を推進する。

(株式会社日立国際電気)

*は「他社登録商標など」(146ページ)を参照

2 ロータリハンマドリル DH28PCY/DH28PBY

コンクリートへの穴あけ・軽はつり作業には、世界中で一般的にロータリハンマドリルが使用されている。近年、ロータリハンマドリルは穿 (せん) 孔速度の向上や低振動機構の搭載など、性能・機能の改善が著しい。

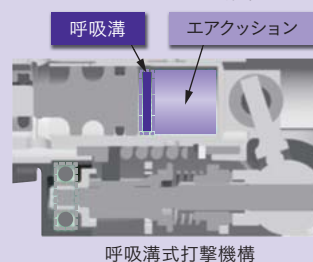
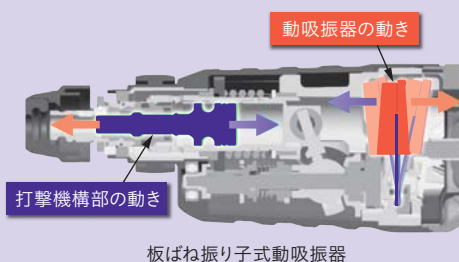
この製品は、打撃機構部の構造変更により、クラス最速*¹⁾の穿孔速度を実現するとともに、耐久性を向上した。また、日立独自の板ばね振り子式動吸振器を採用することで、大幅な振動低減を達成した。

主な特長は、以下のとおりである。

- (1) 呼吸溝式の打撃機構と打撃諸元の最適化により、クラス最速の穿孔速度を実現 (従来比1.3倍)
 - (2) エアクッションの効果向上により、耐久性を大幅に改善 (従来比2倍)
 - (3) 世界初*²⁾・日立独自の板ばね振り子式動吸振器により、クラストップ*¹⁾の低振動を達成 (従来比33%低減)
- (日立工機株式会社)
(発売時期：2013年7月)

※1) 2013年6月現在、日本国内電動工具メーカーの2 kgクラスロータリハンマドリルにおいて (日立工機調べ)。

※2) 日立工機調べ。



2 ロータリハンマドリルDH28PCY/DH28PBY

3 コードレスインパクトドライバ WH14DDL/WH18DDL

コードレスインパクトドライバには、ねじ締付けスピードの高速化、充電1回当たりの作業量増、小型・軽量化など、作業効率を向上させる高い性能が求められている。

この製品は、日立独自の高効率ブラシレスモータと作業時の負荷に応じて回転数や打撃タイミングを自動制御するACS (Active Control System) 機能により、小型・軽量でありながら締付けスピードを飛躍的に向上させた。また、従来品3.0 Ah電池と同サイズ・同質量で開発した高容量4.0 Ah/5.0 Ahリチウムイオン電池との組み合わせで、1充電当たりの作業量を大幅に増大させた。電池は独自開発の多重保護システム（過負荷保護・過放電保護・過充電保護）

を搭載し、長寿命を実現するとともに、他の工具との互換性を確保している。

主な特長は、以下のとおりである。

- (1) 日立独自のブラシレスモータとACS機能で、クラス最速[※]締付けスピードを実現（従来品比約25%向上）
 - (2) 高容量リチウムイオン電池との組み合わせで、1充電当たりの作業量が増大（4.0 Ah：約1.5倍、5.0 Ah：約2倍）
 - (3) 小型（全長128 mm）・軽量（1.3 kg）で優れた取り回し
 - (4) 独自開発の多重保護システムを搭載し、長寿命で他の工具との互換性を確保した電池
- （日立工機株式会社）
（発売時期：2013年2月）

※）2013年8月現在、日本国内電動工具メーカーの14.4 V/18 Vコードレスインパクトドライバにおいて（日立工機調べ）。



3 コードレスインパクトドライバ (WH14DDL) (左), ねじ締め速度と作業量の比較 (右)